



## ■クラッチ検査について

KF1、KF2部門

カート搭載のデータロギングシステムによる、KF1、KF2部門のエンジンクラッチの検査を行う。

詳細については、下記の通りである。

- (1) 技術委員長は審査委員会立会いのもと、カートにデータ収集システムを取り付けさせることができる。
- (2) 上記システムは、レース中、常に作動していなければならない。
- (3) 競技参加者は、2013JAF国内競技規則ならびに全日本カート選手権統一規則「2013年全日本カート選手権 KF1部門適用車両規定」、および「2013年全日本カート選手権KF2部門適用車両規定」8に従い、クラッチが最大3000rpmでつながり、ドライバーと共にカートが前進すること、およびすべての状況において最高5000rpmで直接駆動（且つ100%クラッチがつながっている）状態でなければならない。
- (4) 取付は公式練習から取り付けること。
- (5) 本システムにより規則違反が確認された場合、ペナルティの対象となる場合がある。
- (6) 配布・返却手順

○KF1部門

配布： タイヤ引き渡し時

返却： 第2戦 決勝レース終了後 車検場

○KF2

配布： タイヤ引き渡し時

返却： 決勝ヒート終了後 車検場

エンジン回転数測定器およびホルダーの配置はタイヤ引き換え時とし、返却は決勝ヒート終了後に車検場に返却すること。

**【クラッチ作動検査器】**

1. クラッチ作動検査器の装着：(KF1/KF2)

- 1) 各車両にはクラッチ作動検査器(以下「測定器」という)の装着を義務付ける。
- 2) 各競技会では、測定器の装着にあたり、以下の貸出を行う。

- ①測定器(本体、固定用ボルト) …… 1基
- ②センサー付ケーブル(WHEEL/RPM用) … 2本



- 3) 各参加者は、測定器の装着にあたり、各自で以下を準備すること。

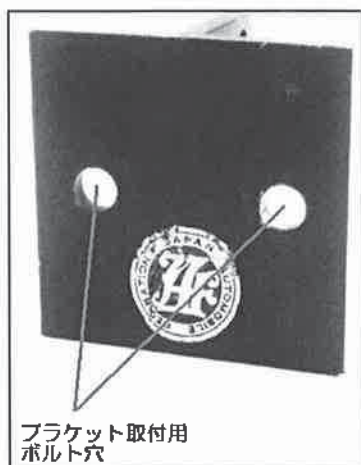
- ①測定器本体ブラケット… 1基
- ②スピードセンサー用フィッティング… 1基
- ③スピードセンサー用マグネット… 1個

**【参考】**

①測定器本体ブラケット：

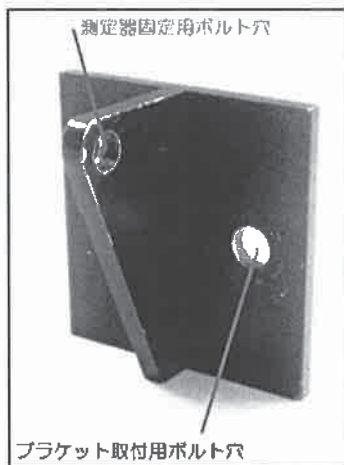
- ・シート背面に以下ブラケットを介して、測定器本体を取付ける。
- ・測定器の固定用ボルトは「M6×25」 1本。

<ブラケット外観>



ブラケット取付用ボルト穴

(シート背面側)



測定器固定用ボルト穴

ブラケット取付用ボルト穴

(測定器設置側)

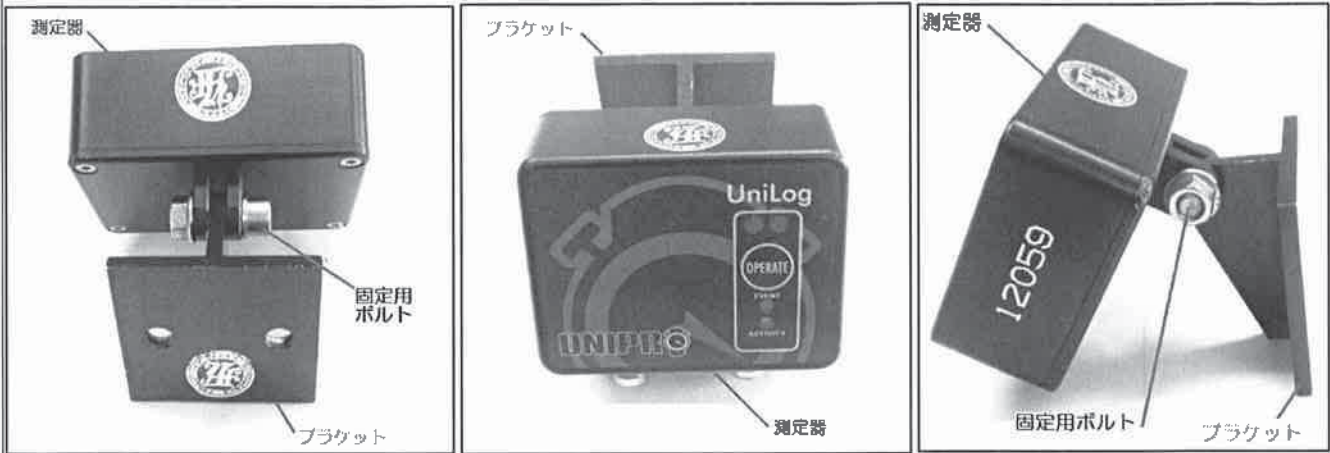


測定器固定用ボルト穴

シート背面→

(側面)

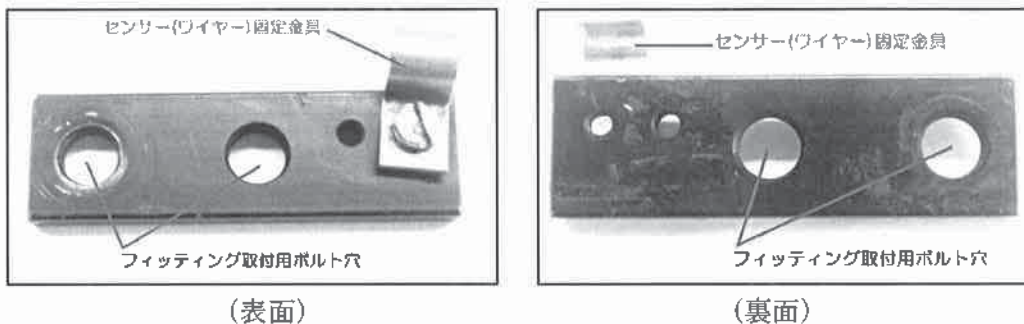
＜測定器本体をボルトを用いてブラケットに固定した状態＞



② スピードセンサー用フィッティング：

- ・リアアクスル近接部分に以下フィッティングを介して、スピードセンサー(WHEEL ワイヤー)を固定し、リアアクスルに設置したスピードセンサー用マグネットとの間隔を保持する。

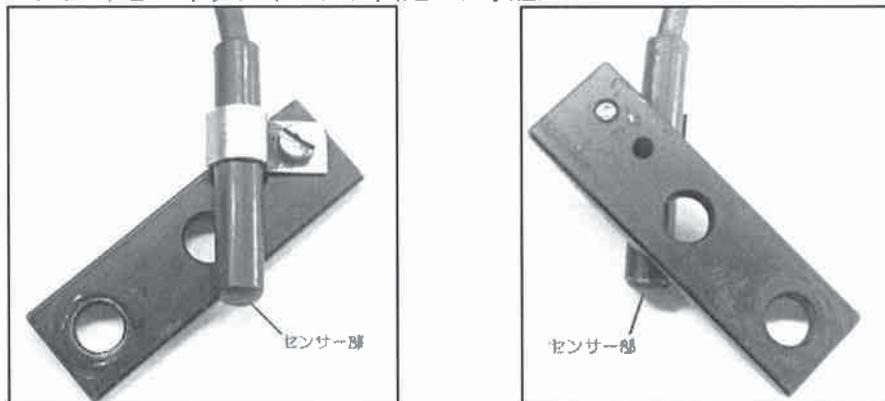
＜フィッティング外観＞



(表面)

(裏面)

＜センサー(ワイヤー)をフィッティングに固定した状態＞



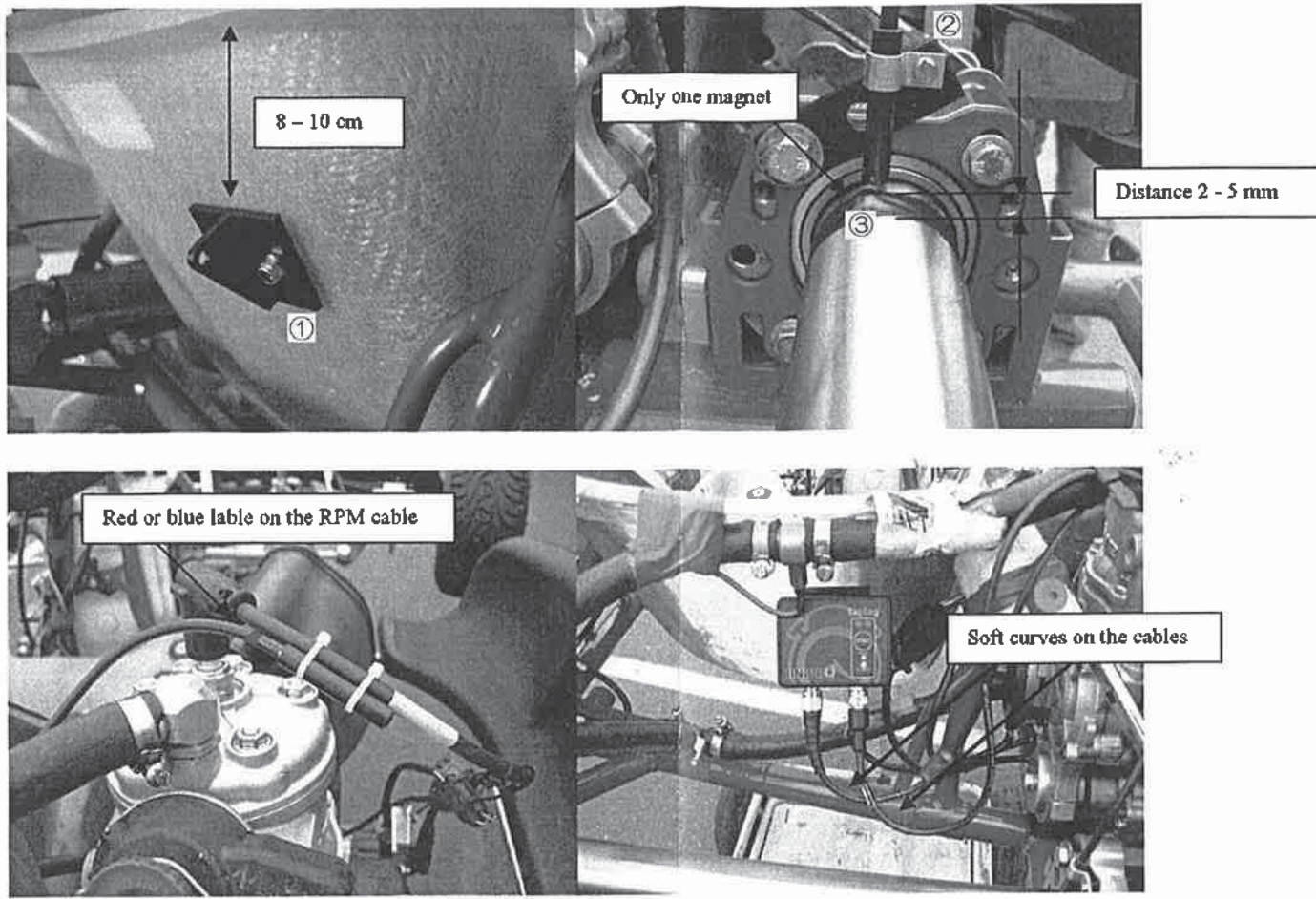
③ スピードセンサー用マグネット：

- ・リアアクスルにビニールテープ等を用いてスピードセンサー用マグネットを設置する。



4) 以下に従い、参加者自身で測定器およびケーブル付センサー類を装着すること。

### How to mount the UniLog assembling kit



※図の①～③は、上記3) ①～③に該当する箇所。

4) 競技会終了後は、配付された測定器とセンサー付ケーブルを返却すること。

以上